

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-89764

(43)公開日 平成6年(1994)3月29日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>  
H 01 R 23/68  
// H 01 R 4/48

識別記号 庁内整理番号  
303 E 6901-5E  
C 7354-5E

F 1

技術表示箇所

(21)出願番号 特願平5-140002  
(22)出願日 平成5年(1993)5月18日  
(31)優先権主張番号 07/901055  
(32)優先日 1992年6月19日  
(33)優先権主張国 米国(US)

(71)出願人 390009531  
インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション  
INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORPORATION  
アメリカ合衆国10504、ニューヨーク州  
アーモンク(番地なし)  
(72)発明者 レイモンド・アーチ・ブサコ  
アメリカ合衆国、ペンシルベニア州18436、  
レイク・エリアル、ボツクス134ディー、  
アール・ディー4(番地なし)  
(74)代理人 弁理士 合田潔(外2名)  
最終頁に続く

equiv US 5248262  
cited

(54)【発明の名称】 コネクタ

(57)【要約】

【目的】一対の回路部材(例えば回路ボード33及び回路モジュール35)を相互接続する電気コネクタ10を提案する。

【構成】コネクタ10は、ハウジング11と、ハウジング11内に配置された少なくとも1つのフレキシブル回路部材15と、2つの離れた位置でフレキシブル回路部材15に取り付けられたスプリング手段27とを含む。スプリング手段27はフレキシブル回路部材15に対して力を及ぼすことにより、回路部材33、35を互いに近づくように移動させた(例えば圧縮させる)ときフレキシブル回路部材15を回路部材33、35上の個々の導電性パッド31に係合させる。スプリング手段27の形状は、フレキシブル回路部材15に取り付けられた2つの位置の間におけるフレキシブル回路部材15の部分とほぼ共形の形状を有する。従つて回路部材33、35とフレキシブル回路部材15とを高密度に接続し得ると共に必要に応じて分離及び再接続し得る。

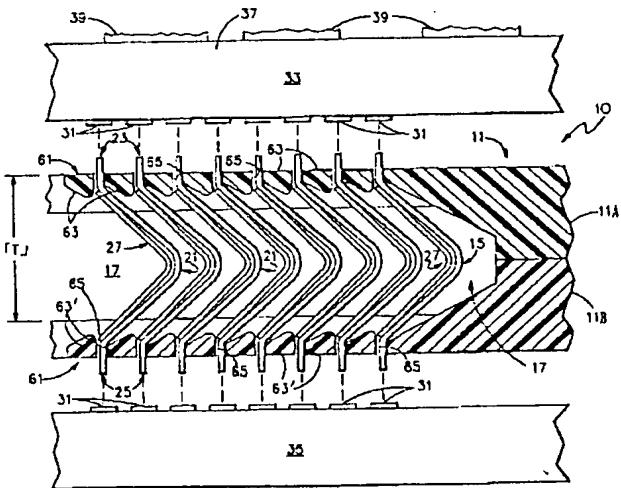


図2 動作状態ないコネクタ